

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## ドライブシーズン控えて堅調

NY原油先物相場は、1バレル=115ドルの節目を上抜く展開になった。中国の需要環境が最悪期を脱したとの評価が維持される一方、北半球がドライブシーズン入りすることが材料視された。また、欧州連合（EU）がロシア産原油の禁輸で合意するとの観測も、原油相場を刺激している。需給ひっ迫見通しの織り込みから、週を通じて押し目買い優勢の展開になった。

米国では5月30日のメモリアル・デーを境に、ドライブシーズン入りすることになる。ガソリン高の影響で昨年と比較するとガソリン需要は抑制されているが、それでも夏に向けて需要拡大圧力が強まり易くなる。しかも、米ガソリン在庫は8週連続で減少中であり、過去5年のレンジ下限を大きく下回る低在庫環境になっている。米製油所は稼働率の引き上げで対応しているが、ロシア産の石油製品の供給が大きく落ち込んでいることもあり、需要を満たす供給量を確保できていない。ドライブシーズンのガソリン需給のひっ迫懸念が、原油相場を押し上げ始めている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月20日時点）は、原油が前週比102万バレル減、ガソリンが48万バレル減、石油精製品が166万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ドライブシーズン入りで堅調、EUがロシア産禁輸だと急伸も

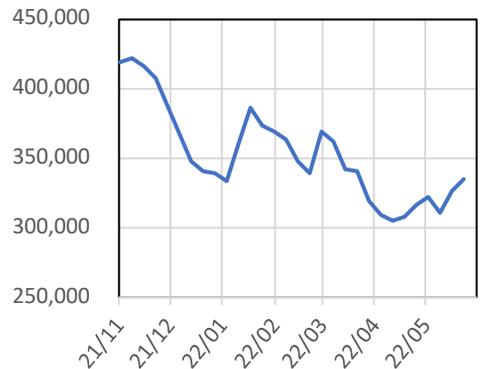
需給ひっ迫評価から底固い展開が続き易い。115ドルの節目を完全に上抜くと、一気に120ドルを試す可能性も想定しておく必要がある。まずは5月30日のメモリアル・デーの連休明け後の動向が注目される。これからドライブシーズンが名実ともに始まるが、ガソリン在庫のタイト感は極めて強く、需要拡大に対応できるのか不透明感が強い。特に米ガソリン在庫が9週連続の減少になると、ガソリン主導で原油相場も大きく値位置を切り上げる可能性が高まる。

5月30～31日にはEU臨時首脳会合が開催される。エネルギー政策についての協議が予定されており、ロシア産原油の禁輸を巡る合意が行われる可能性がある。ハンガリーが自国経済への影響の大きさから禁輸に反対しているが、何等かの譲歩案で合意するとの見方が強くなっている。いずれにしてもEU加盟国はロシア産原油の調達量を削減していくことになるが、経済制裁の形で石炭に続いて原油も禁輸措置が導入されると、供給環境の不安定化が加速し易くなる。EUはその先に天然ガスの禁輸もみており、「脱ロシア」によるエネルギー需給全チャの混乱が想定されている。

6月2日には石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が予定されている。7月の生産割当を協議するが、6月と同様に日量43.2万バレルの増産対応が合意される見通し。特段の政策調整は想定されておらず、計画通りに産油量を増やす方針が再確認される見通し。イベントとしての注目度は高くない。

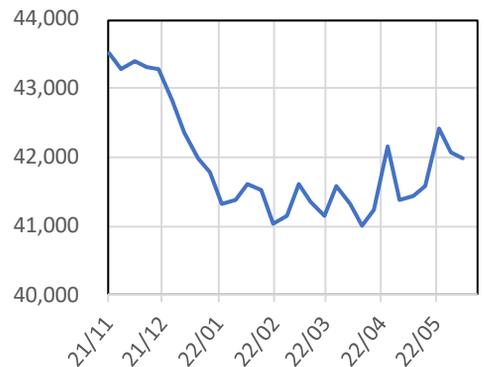
一方、米国では過去最高値圏のガソリン価格でドライブシーズンを迎えるため、価格鎮静化のために政治的な対応が活発化するリスクには注意が必要。中国の新型コロナウイルスの感染状況も、引き続き下振れリスクとして注目される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



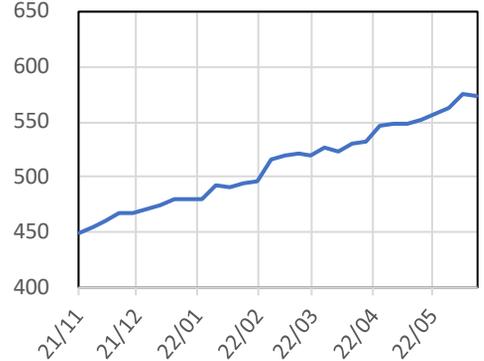
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

